

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 7 区分
 【発行日】平成 19 年 4 月 19 日 (2007.4.19)

【公開番号】特開 2004-284822 (P2004-284822A)
 【公開日】平成 16 年 10 月 14 日 (2004.10.14)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-040
 【出願番号】特願 2004-57131 (P2004-57131)
 【国際特許分類】

B 6 5 H 15/00 (2006.01)
B 4 1 J 13/02 (2006.01)
B 4 1 J 13/076 (2006.01)
B 6 5 H 5/06 (2006.01)
B 6 5 H 85/00 (2006.01)
B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 6 5 H 15/00 E
 B 4 1 J 13/02
 B 4 1 J 13/076
 B 6 5 H 5/06 B
 B 6 5 H 5/06 F
 B 6 5 H 85/00
 B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 3 月 1 日 (2007.3.1)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

被記録媒体の両面に記録を行う両面記録装置において被記録媒体に記録を行う記録ヘッドによって記録の行われた第 1 面を内側にして被記録媒体を湾曲反転させる湾曲反転経路を有し、前記第 1 面に対して反対側の第 2 面が前記記録ヘッドと対向する様に前記第 1 面に記録の行われた被記録媒体を前記記録ヘッドと対向する位置へ再び案内する被記録媒体案内装置であって、

前記湾曲反転経路における湾曲部分の内側が、前記第 1 面と接して従動回転する反転経路形成用ローラの外周面によって形成されている、
 ことを特徴とする被記録媒体案内装置。

【請求項 2】

請求項 1 において、前記反転経路形成用ローラが、前記記録ヘッドによって主走査方向に波打つコックリング状態が形成された被記録媒体の、前記コックリング状態における谷の部分に配置されている、
 ことを特徴とする被記録媒体案内装置。

【請求項 3】

被記録媒体の両面に記録を行う両面記録装置において被記録媒体に記録を行う記録ヘッドによって記録の行われた第 1 面を内側にして被記録媒体を湾曲反転させる湾曲反転経路を有し、前記第 1 面に対して反対側の第 2 面が前記記録ヘッドと対向する様に前記第 1 面

に記録の行われた被記録媒体を前記記録ヘッドと対向する位置へ再び案内する被記録媒体案内装置であって、

前記湾曲反転経路における湾曲部分の外側に、回転駆動される湾曲反転部駆動ローラが設けられ、

前記湾曲反転経路における湾曲部分の内側に、前記湾曲反転部駆動ローラと接して従動回転する湾曲反転部従動ローラが設けられている、

ことを特徴とする被記録媒体案内装置。

【請求項 4】

請求項 3 において、前記湾曲反転部従動ローラが、前記第 1 面と面接触するローラによって構成されている、

ことを特徴とする被記録媒体案内装置。

【請求項 5】

請求項 3 または 4 において、前記湾曲反転部従動ローラが、被記録媒体の幅方向において、被記録媒体の両側端位置近傍に配置されている、

ことを特徴とする被記録媒体案内装置。

【請求項 6】

請求項 3 から 5 のいずれか 1 項において、前記湾曲反転経路における湾曲部分の内側が、前記第 1 面と接して従動回転する反転経路形成用ローラの外周面によって形成され、

前記湾曲反転部従動ローラが、前記湾曲反転部駆動ローラに対して付勢された状態に設けられるとともに、前記反転経路形成用ローラが、回転軸と直交する方向に変位しない様に設けられている、

ことを特徴とする被記録媒体案内装置。

【請求項 7】

請求項 3 から 6 のいずれか 1 項において、前記湾曲反転経路における湾曲部分から上流側の略直線経路部分に、被記録媒体を下流側へ送る送りローラが設けられ、

該送りローラが、被記録媒体の前記第 2 面側に設けられ、回転駆動される送り駆動ローラと、

被記録媒体の前記第 1 面側に設けられ、前記送り駆動ローラと接して従動回転する、外周に歯を有する歯付きローラと、を備えて構成されている、

ことを特徴とする被記録媒体案内装置。

【請求項 8】

請求項 7 において、前記送りローラが、前記記録ヘッドによって主走査方向に波打つコックリング状態が形成された被記録媒体の、前記コックリング状態の周期に合わせた位置に配設されている、

ことを特徴とする被記録媒体案内装置。

【請求項 9】

請求項 6 から 8 のいずれか 1 項において、前記反転経路形成用ローラが、前記記録ヘッドによって主走査方向に波打つコックリング状態が形成された被記録媒体の、前記コックリング状態における谷の部分に配置されている、

ことを特徴とする被記録媒体案内装置。

【請求項 10】

被記録媒体の両面に記録を行う両面記録装置において被記録媒体に記録を行う記録ヘッドによって第 1 面に記録の行われた被記録媒体を湾曲反転させる湾曲反転経路を有し、前記第 1 面に対して反対側の第 2 面が前記記録ヘッドと対向する様に前記第 1 面に記録の行われた被記録媒体を前記記録ヘッドと対向する位置へ再び案内する被記録媒体案内装置であって、

前記湾曲反転経路における湾曲部分の内側が、被記録媒体と接して従動回転する反転経路形成用ローラの外周面によって形成されている、

ことを特徴とする被記録媒体案内装置。

【請求項 11】

被記録媒体の両面に記録を行う両面記録装置であって、請求項 1 から 10 のいずれか 1 項に記載された前記被記録媒体案内装置を備えている、
ことを特徴とする両面記録装置。

【請求項 12】

被噴射媒体を斜め上方に搬送する傾斜した被記録媒体搬送経路を備え、該傾斜した被記録媒体搬送経路上で被記録媒体にインクジェット記録を行う両面記録装置であって、前記傾斜した被記録媒体搬送経路の下側領域に、請求項 1 から 10 のいずれか 1 項に記載された前記被記録媒体案内装置を備えている、
ことを特徴とする両面記録装置。

【請求項 13】

被噴射媒体に液体噴射を行う液体噴射ヘッドと、

該液体噴射ヘッドによって液体噴射の行われた第 1 面を内側にして被噴射媒体を湾曲反転させる湾曲反転経路を有し、前記第 1 面に対して反対側の第 2 面が前記液体噴射ヘッドと対向する様に前記第 1 面に液体噴射の行われた被噴射媒体を前記液体噴射ヘッドと対向する位置へ再び案内する被噴射媒体案内装置と、を備えた液体噴射装置であって、

前記湾曲反転経路における湾曲部分の内側が、前記第 1 面と接して従動回転する反転経路形成用ローラの外周面によって形成され、

前記湾曲反転経路における湾曲部分の外側に、回転駆動される湾曲反転部駆動ローラが設けられ、

前記湾曲反転経路における湾曲部分の内側に、前記湾曲反転部駆動ローラと接して従動回転する湾曲反転部従動ローラが設けられている、

ことを特徴とする液体噴射装置。